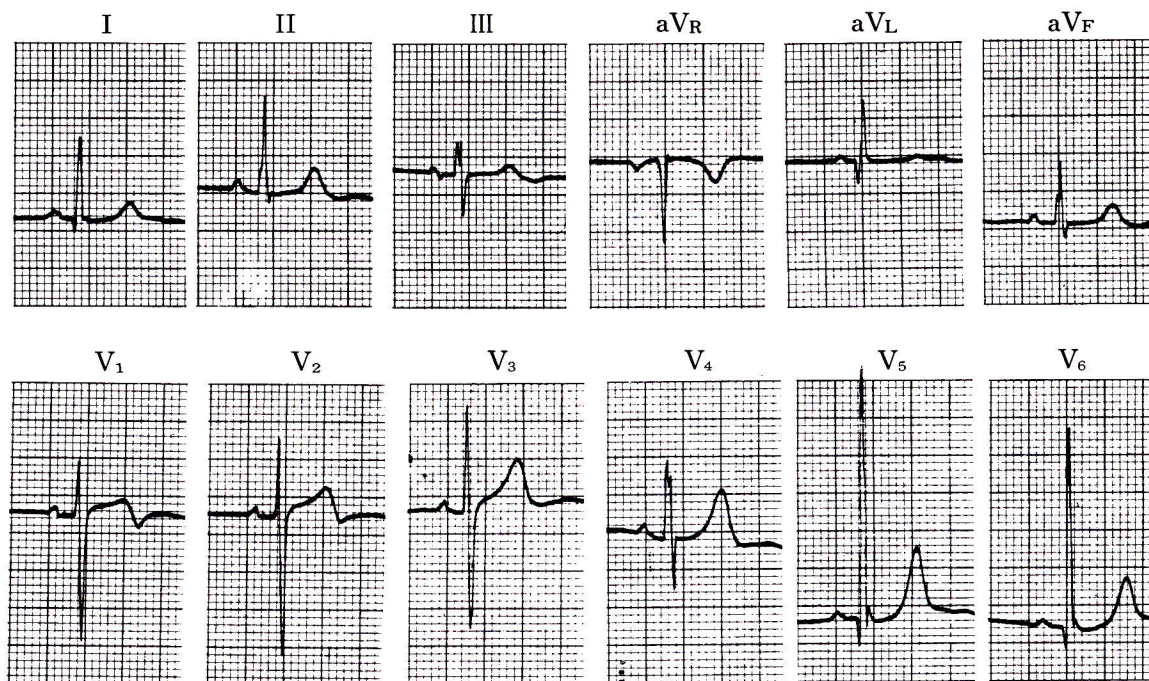


# 症例 17

●42歳 女

●左第3～第4肋間に拡張期漸減性雑音を聴取。



1) 心電図診断は.

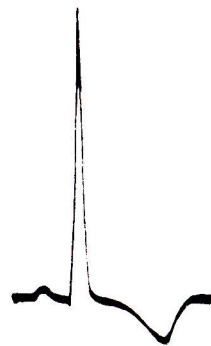
## 左室肥大（拡張期負荷パターン）

$V_5$ のR波34mm,  $V_6$ のR波26mm. 左室肥大である.  $V_5$ ,  $V_6$ では高いR波に加えて, やや深いQ波, 高いT波を有し, 左室の拡張期負荷パターンを示している.

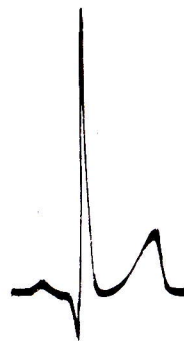
## MEMO

## 〈左室収縮期負荷パターンと圧室拡張期負荷パターン〉

心室の拡張期に流入する血液量が増加したとき（拡張期負荷または容量負荷）と, 心室にかかる駆出抵抗が増大したとき（収縮期負荷または圧負荷）では心電図波形が多少異なる. 左室拡張期負荷では左側胸部誘導に高いR波と心室興奮時間（ventricular activation time, VAT, QRS波起始部からR波の頂点までの時間）の延長, やや深いq波, 高い陽性T波を, 左室収縮期負荷では左側胸部誘導で高いR波と心室興奮時間の延長, ストレイン型陰性T波をみることが多い. しかし, この区別は必ずしも明確なものではなく, たとえば左室拡張期負荷でも, 負荷が高度かつ持続し, 心筋傷害が生じてくると平低～陰性T波, ST低下を伴ってくるため, 収縮期負荷パターンとの差ははっきりとしなくなる.



左室収縮期  
負荷パターン



左室拡張期  
負荷パターン